

目標Ⅱ

子どもを安心して産み育てるための支援を推進する

【背景】

- 女性の社会進出が進み、夫婦共働きの世帯が増加し、就労形態や生活スタイルは多様化しています。保育需要が増大する中で、利用者の視点に立ったきめ細やかなサービスの提供が求められています。加えて、家庭で子育てする保護者も、急な用事や病気、育児疲れなどから一時的に保育サービスを必要とする場合もあり、そのような状況に対応できる体制の整備も重要となっています。
- また、核家族化の進展や地域の繋がり希薄化、共働き世帯の増加等により、子育て環境が変化しており、子育てに不安感や孤立感を持つ保護者が増えています。就学前児童保護者のアンケートでは、子育てに対して「祖父母からの支援がない」割合が18.4%、「友人・知人からの支援がない」割合が57.7%となっており、身近に頼れる人がいないことが分かります。
- 国においては、平成28年、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援等を通じて、妊娠や子育ての不安、孤立等に対応し、児童虐待のリスクを早期に発見・遁滅するため、市町村に「子育て世代包括支援センター」の設置や支援を要する妊婦等に関する情報提供に努めることを主な内容とする児童福祉法の改正を行いました。
- 豊島区は平成26年、日本創成会議により、23区で唯一「消滅可能性都市」の指摘を受けたことをきっかけに、若い世代が働きやすく、子育てしやすいまちづくりを推進したことにより、0歳から5歳の乳幼児人口が増加傾向にあり、平成29年には民間調査で「共働き子育てしやすい街」全国総合1位を獲得しました。

【方向性】

- 教育や福祉、保健、医療、更生保護などの関係機関が連携し、それぞれの専門性を活かしながら、子どもやその家族が抱える悩み・困難に向き合うことで、個々の発達段階に応じた、切れ目のない継続的かつきめ細やかな支援を行います。また、全ての家庭が安心して子育てできるよう、子育て家庭への各種支援施策を推進していきます。

取組の方向性

(1) 子どもや家庭への医療・健康支援

【現状と課題】

子どもの健やかな成長のためには、母子の健康保持・増進が重要です。アンケート調査においても、「休日・夜間診療などの小児医療体制の充実」や「母親や乳幼児の健康診査・予防接種等の母子保健事業の充実」に対する保護者のニーズが高くなっています。

母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を通じて、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行うことにより、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する体制を構築することが求められています。

【方向性】

保育が必要な家庭だけでなく、全ての家庭を対象に、それぞれの子どもや家庭の状況に応じ、妊娠・出産期の段階からの切れ目のない支援を行います。その際、区、保健所、医療機関、幼稚園、保育所等の関係機関が連携して情報の共有を図り、妊娠期からの総合的相談や支援に取り組めます。

また、子どもの健康診断や健康づくりの事業を実施することで、子どもの健康確保に取り組めます。

【計画の進捗を測る指標】

指標名	現状		目指す方向性 (令和6年度)
安心して子どもを産む環境づくりができていると思う保護者の割合	平成30年度	就学前 40.9%	

根拠：計画策定のためのアンケート調査

【具体的な取組】

① 妊娠期からの切れ目ない支援

目標 妊娠期から出産後まで、相談・支援体制の充実を図ります。

内容 妊娠・出産の不安軽減や、子どもや保護者の状況に応じて切れ目なく支援を行います。

重点事業

事業名	事業目標	事業内容		
④6 ゆりかご・としま事業	妊婦、乳幼児、保護者の心身の健康の保持、増進に努めるとともに、家庭の孤立化を防ぐなど、健全な育児環境の確保を図ります。	妊娠中から出産・子育てに関する様々な不安を軽減し、必要な支援を行うため、「ゆりかご面接（妊娠中の体や心、赤ちゃんを迎える準備等の相談）」と「おめでとう面接（初めての子育て、赤ちゃんとの接し方等の相談）」を実施するとともに、ゆりかご応援グッズや誕生お祝い品を配付します。		
	目標	現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）	
担当課	健康推進課 長崎健康相談所 子育て支援課	①ゆりかご面接実施率 ②おめでとう面接実施率	①58.8% ②72.6%	①70.0% ②80.0%

計画事業

事業名	事業内容	担当課
④7 妊婦健康診査	妊婦の健康保持増進を図るため、1回の妊娠につき妊婦健康診査受診票（14枚）・超音波受診票・子宮頸がん検診受診票を交付し、健診の公費助成を実施します。	健康推進課 長崎健康相談所
④8 妊産婦歯科健康診査事業	妊娠中から産後または妊娠終了後1年以内の女性を対象に、1回の妊娠につき、1回の歯科健診及び保健指導を実施し、妊産婦と子の歯と口腔の健康を推進します。	健康推進課
④9 妊産婦・乳幼児保健指導事業	経済的理由により保健指導（定期健診）を受け難い妊産婦・乳幼児に保健指導票を交付し、指定医療機関において保健指導を実施します。	健康推進課 長崎健康相談所
⑤0 産後ケア事業	産後において家族等から十分な家事、育児等の援助が受けられず、育児不安等が認められる産後4か月未満の母子に対して、助産師等による心身のケア、育児の支援その他母子の健康及び増進に必要な支援を行います。	健康推進課 長崎健康相談所
⑤1 育児支援ヘルパー事業	保護者の体調不良やストレスのために育児や家事に支障がある産前から2歳未満の子どもを養育する家庭に対し、育児支援ヘルパーを派遣し支援を行います。ひとり親家庭は要件が異なります。	子育て支援課
⑤2 としま育児サポーター	赤ちゃん訪問後も不安のある方へ助産師が個別訪問し、3～4か月児健診までのきめ細やかな支援を行います。	健康推進課
⑤3 としま見る知るモバイル	結婚・妊娠・出産・子育て支援の情報発信を行うモバイルサイトを導入し、双方向性の支援を実施します。また、予防接種スケジュール管理とお知らせメールの自動配信を行います。	健康推進課 長崎健康相談所
⑤4 ようこそ新米ママのひろば事業	生後4か月未満の乳児とその保護者を対象に、乳児の成長と母体の健康状態を確認し、育児に関する相談やメンテナンス体操を実施することにより、育児不安の軽減と母親のリフレッシュの機会を提供します。	健康推進課
⑤5 豊島区特定不妊治療費助成事業	不妊治療を受ける夫婦等の経済的負担の軽減を図るため、「東京都特定不妊治療費助成事業」の承認を受けている区民に対し、特定不妊治療（体外受精及び顕微授精、男性不妊治療）にかかった保険適用外の治療費の一部を助成します。	健康推進課
⑤6 入院助産	入院して分娩する必要があるにもかかわらず、経済的にその費用を支払うことが困難な妊産婦の方に、入院費用の全部または一部を補助します。	子育て支援課
③2 こんにちは赤ちゃん事業	【再掲】（72ページ）	健康推進課 長崎健康相談所

コラム⑥ ゆりかご・としま事業

豊島区では、妊娠から出産、子育ての切れ目ない支援を目指して「ゆりかご・としま事業」を行っています。

妊娠中の様々な不安を軽減し安全な出産を迎えていただくために、妊婦の方全員を対象に助産師・保健師が面接し、育児サービスのご紹介や妊娠・出産・育児の相談対応をしています。また、面接を受けた方へ、妊娠・出産に関わる「ゆりかごグッズ」をお渡ししています。

出産後には、満1歳までの子どもがいる子育て家庭に対して、専門相談員による「おめでとう面接」を実施するとともに、誕生祝い品をお渡し、産後の体調確認や子育ての悩みの傾聴、関係機関の案内などを行うことで、子育てに関する様々な不安を軽減し、必要な支援に繋げています。



「ゆりかご面接」の様子



おめでとう面接(イメージ)



誕生祝い品(おもちゃ)

②子どもの健康確保のための取組

目標 乳幼児の健康な育ちを支える各種事業を推進します。

内容 乳幼児向けの健康診断や休日診療、健康に関する悩み相談に対応する事業を行います。

重点事業

事業名		事業目標	事業内容	
⑤7 乳幼児健康診査		乳幼児の健康状況を把握し、保護者の育児不安軽減や適切な育児環境となるよう支援します。	3～4か月児、6～7か月児、9～10か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に医師、歯科医師の診察及び保健相談、栄養相談、歯科相談を行い、健康診査の結果異常が認められる児に精密健康診査を実施しています。 ※3～4か月児及び3歳児については保健所において集団的な健診を実施しています。	
		目標	現状値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
担当課	健康推進課 長崎健康相談所	①乳児(3～4か月児)健診受診率 ②3歳児健診受診率	①93.5% ②92.2%	①97.0% ②93.0%

計画事業

事業名	事業内容	担当課
⑤8 乳幼児歯科衛生相談事業	乳幼児をむし歯から守るために、1歳児、2歳児、2歳6か月、3歳6か月から4歳未満までを対象に歯科健診、歯みがき指導、予防処置(フッ化物塗布)を行います。また、希望する保育園に対し、歯みがき指導を実施します。	健康推進課 長崎健康相談所
⑤9 新生児聴覚検査事業	聴覚障害は早期発見と適切な治療・支援が行われることにより、音声言語の発達への影響を最小限に抑えられることができます。検査費用の一部公費助成により経済的負担を軽減することで、全ての新生児が聴覚検査を受診しやすくし、医療機関との連携により、早期発見、早期療育につなげます。	健康推進課 長崎健康相談所
⑥0 乳幼児健康相談	身近な区の施設等を会場として、乳幼児を対象に身長、体重の計測と栄養相談、育児相談、歯科相談等を実施します。	健康推進課 長崎健康相談所
⑥1 予防接種事業	ワクチンで予防できる感染症の重症化や死亡を防ぎ、集団感染による感染拡大を防止するための重要な施策です。定期予防接種の接種率向上と任意予防接種の推進を図ります。	健康推進課
⑥2 先天性風しん症候群予防対策事業	胎児の先天性風しん症候群の発生を防止するため、妊娠を希望する女性や、妊娠を希望する女性または妊婦のパートナーや同居人を対象に風しん抗体検査費用の全額助成を行い、抗体価の低い対象者には、MR(麻しん・風しんワクチンを混合したワクチン)または風しん予防接種費用の全額助成を行います。	健康推進課
⑥3 子どもの医療費助成事業	中学校3年生までの子どもにかかる通院・入院の医療費(乳幼児は食事負担額を含む)の自己負担分を助成します。	子育て支援課
⑥4 休日診療事業	休日診療所において、内科・小児科・歯科の休日診療(昼間)並びに内科・小児科の休日及び土曜診療(準夜間)を実施します。	地域保健課
⑥5 平日準夜間小児初期救急診療事業	都立大塚病院内の「豊島文京平日準夜間こども救急」において、15歳以下の子どもを対象に、平日の準夜間(午後8時～11時)に週5日間、小児初期救急診療を実施します。	地域保健課
⑥6 こどものぜん息水泳教室	気管支ぜん息等の診断を受けている児童・生徒を対象に呼吸法等の訓練により健康の維持、回復を図ることを目的に水泳教室を実施します。	地域保健課
⑥7 子どものための禁煙外来治療費助成事業	胎児を含む子どもを受動喫煙による健康被害から守るため、妊婦本人及び妊婦や18歳未満の子どもと同居する者並びに20歳未満の喫煙者が、区長が指定する医療機関において禁煙外来治療を完了した場合に一定額を助成します。	地域保健課

取組の方向性

(2) 子育て家庭への支援

【現状と課題】

子育てを巡る環境は大きく変化しています。アンケート調査でも、父親と母親がともに何らかの形で働いている共働き世帯は非常に多いことが示されています。

核家族化や共働き世帯の増加により、育児の負担が大きいと感じる家庭が増えてきています。様々な支援機関が連携しながら、家庭や子どもの状況に応じた働きかけや支援を行っていくことが重要です。

また、アンケート調査の結果からは、保護者の回答者のうちの約半分が、地域の方々から子育てに関して何らかのサポートが欲しいと感じていることがわかりました。

全ての家庭が安心して子育てができるよう、子育て家庭同士のコミュニティ形成のサポートや、子育て家庭を見守り、支えていく地域・コミュニティづくりが求められています。

【方向性】

必要な家庭に支援が行き届くよう、子育て支援サービスの充実を図るとともに、家庭教育の推進により育児の担い手を増やしていきます。

また、子育てに不安や悩みを抱える家庭に対して相談支援を実施することで、全ての家庭が安心して子育てできるよう努めます。

【計画の進捗を測る指標】

指標名	現状		目指す方向性 (令和6年度)
子育てが楽しいと感じることの方が多いと答えた保護者の割合	平成30年度	就学前 69.0%	

根拠：計画策定のためのアンケート調査

【具体的な取組】

①子育て支援サービスの充実

目標 子育て家庭への支援を推進します。

内容 個々の状況に応じた家庭支援、子育てに関する情報提供を実施します。

重点事業

事業名	事業目標	事業内容	
⑥8 東部・西部子ども家庭支援センター事業	親子で楽しく遊び過ごせる居場所を提供し、安心して子育てができるようにします。	育児不安や子育てに悩む親や、子ども自身からの相談を受け、関係機関と連携して問題の解決を図ります。乳幼児とその親が遊びながら1日過ごせる場所を提供するとともに、子育て・子育てを地域で支え合う活動や仲間づくりを支援します。	
	目標	現状値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
担当課	子育て支援課	①センター来館者 ②センター新規登録世帯数	①41,456人 ②1,630世帯

事業名	事業目標	事業内容	
⑥9 地域区民ひろばにおける「子育てひろば」の運営・開設	地域における子育て世代の交流の場を提供します。	地域の乳幼児の遊びの場及び保護者の相互交流の場を小学校区単位に開設しています。また、保護者からの育児相談に応じ、必要な情報の提供を行うなど地域の子育てを支援しています。	
	目標	現状値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
担当課	地域区民ひろば課	延べ利用者数	219,611人 222,500人

計画事業

事業名	事業内容	担当課
⑦0 子どもショートステイ事業	保護者の疾病、出産などにより、一時的に保育を必要とする児童に対して宿泊を伴う養育を行います。	子育て支援課
⑦1 ファミリー・サポート・センター事業	生後43日から小学校修了時までの子どもを持ち、子育ての援助を必要とする方(利用会員)と子育ての援助ができる方(有償ボランティアの援助会員)からなる会員組織です。区は事務局として会員間の橋渡しを行い、地域の中での子育てを援助します。	子育て支援課
⑦2 子育て支援総合相談事業	子育て総合相談窓口「子育てインフォメーション」に「子育てナビゲーター」を配置し、妊娠期から子育て期に関わる相談の受付や専門部署への連絡・調整を行い、子育て支援の相談機能の充実を図っています。また、子育て世帯に有益な情報の提供や、子育てサークル等に関わる地域活動支援も行います。	子育て支援課
⑦3 子育てひろば事業補助	身近な地域における子育て家庭への支援を広げるため、地域の団体が行う「子育てひろば事業」に対し、運営助成を行います。	保育課
⑦4 マイほいくえん事業	出産を控えている方、在宅で子育てしている方を対象に、住まいに近い区立保育園を「マイほいくえん」と位置付けます(登録制)。「マイほいくえん」での電話や来園による育児相談や園主催のプログラムへの参加を通じて、安心して出産し子育てができる環境の充実を図ります。	保育課
新規 ③5 家庭訪問型子育て支援(ホームスタート)助成事業	【再掲】(72ページ)	子育て支援課
⑤1 育児支援ヘルパー事業	【再掲】(77ページ)	子育て支援課

②家庭教育支援

目標	家庭教育を推進し、保護者の子育て力の向上を図ります。
内容	子育てに関する学習機会や情報の提供を行います。

重点事業

事業名	事業目標	事業内容	
(75) 家庭教育推進事業	家庭教育の重要性を啓発します。	以下の取組を通じ、子どもの発達段階に応じた学習機会の充実や情報提供を行います。 ①【家庭教育推進員】区立小学校PTA会長から推薦を受けた家庭教育推進員が1年間活動し、2月に学習発表会を開催します。 ②【家庭教育学級】キャリア教育や居場所としての家庭について学ぶ講座を開催します。 ③【家庭教育講座】区立小中学校PTA及び区立幼稚園職員と園児の保護者が企画運営する講座を支援します。	
	目標	現状値(令和元年度)	目標値(令和6年度)
担当課	庶務課 学習・スポーツ課	①【家庭教育推進員】 参加者に事業開始前と終了後でアンケートをとり、「家庭教育に主体的に働きかけたい」と思う人の増加率 ②【家庭教育学級】 延べ参加者数 ③【家庭教育講座】 実施校数	① 毎年度、18%上昇 ② 300名 ③ 20校で講座実施 (1校でも多い講座実施を目指す。)

計画事業

事業名	事業内容	担当課
(76) 母親学級、パパママ準備教室	妊婦及びそのパートナーを対象に、妊娠中の過ごし方、お産の準備、産後の摂生、保育方法について助産師等による講義・実技及び指導を行います。	健康推進課 長崎健康相談所
(77) 母乳教室事業	母乳で育てたいと考えている母親のために、母乳相談を実施します。	健康推進課 長崎健康相談所
(78) 母親の子育て講座の開催	子ども家庭支援センターにおいて、子どもの発達や食育、遊びなど、広く子育てに関する学習を行います。また、他機関との連携や民間(NPO)との共催も視野に入れた講座なども行います。	子育て支援課
(79) 父親の子育て講座の開催	子ども家庭支援センターにおいて、父親対象で「親子ふれあい遊び」「親子音楽あそび」等の子育て講座や、子どもとのかかわり方等について、父親同士意見交換などを行います。また、父親の初めての育児を支援するため、子どもと遊ぶツールとしての絵本の読み聞かせ方・身体を使った遊びなどの講座を実施や、親子で楽しめる音楽会・コンサート等を開催しています。	子育て支援課
(80) 親の子育て力向上支援事業	子ども家庭支援センターにおいて、子どもの発達や養育に関して不安を感じている親が、グループで意見交換し、自らの力で問題を解決していく親支援プログラムを実施します。	子育て支援課
(81) 保護者向け就学前教育に関する啓発	保幼小中連携推進プログラムを踏まえ、保護者向けパンフレットを作成し、各家庭へ配布します。また、既存の子育て支援施策を活用しつつ、家庭教育施策の充実を図ります。	保育課 学務課 指導課

③相談支援

目標 育児や子育てに関する悩みや不安、問題の解決を図ります。

内容 子育て一般に関する相談や、専門的な知識を要する相談など、子育てに関わる各種相談支援に取り組みます。

重点事業

事業名		事業目標	事業内容	
⑥8	東部・西部子ども家庭支援センター事業【再掲】	子どもと家庭に関するあらゆる悩みに総合的に対応し、育児不安や子育ての悩みの軽減を図ります。	育児不安や子育てに悩む親や、子ども自身からの相談を受け、関係機関と連携して問題の解決を図ります。乳幼児とその親が遊びながら1日過ごせる場所を提供するとともに、子育て・子育てを地域で支え合う活動や仲間づくりを支援します。	
		目標	現状値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
担当課	子育て支援課	相談件数	11,996件	13,000件

計画事業

事業名	事業内容	担当課
⑧2 乳幼児健全育成相談事業	育児情報の提供、子育て不安の解消を目的に、保育園においてふれあい体験保育、育児相談を実施します。	保育課
③3 子育て訪問相談事業	【再掲】(72ページ)	子育て支援課
⑦2 子育て支援総合相談事業	【再掲】(81ページ)	子育て支援課
⑦4 マイほいくえん事業	【再掲】(81ページ)	保育課

コラム⑦ 子ども家庭支援センターにおける「子育てひろば」

豊島区には、東西2か所の子ども家庭支援センターがあり、それぞれに、子どもを遊ばせながら気軽に相談や情報交換ができる「子育てひろば」を設けています。

子ども家庭支援センターの子育てひろばでは、親同士で話を深める中で多様な価値観を知り、自分らしい子育てを見つけることを目的として、子育てに関することや父親への支援など、多岐にわたるテーマの講座を開催しています。例えば、先輩ママから赤ちゃんの話を聞いたり、職員から出産後の様々な育児支援サービスの説明を受ける「ウェルカム赤ちゃん」、出産後のことについてゆっくりお茶を飲みながら語り合い、情報交換を行う「ママズカフェ」などを実施しています。

今後も親子が安心して過ごせる居場所として、親子の支援や交流の機会づくりに取り組んでいきます。



ママズカフェ



子育てひろばでの木育遊び